

ガルモハル

JAPANESE SCHOOL
OF MUMBAI

TEL 022-6694-0630

4 MAR/2026 NO9

「SDGsへの気づき」～スピーチのつどいより～

校長 佐藤 義朗

2月6日に行われました「スピーチのつどい」では、インドで生活しているが故の子どもたちの様々な気づきや思いを感じることができました。その中で、SDGsの目標に関連した発表がありましたので、それぞれの発表を抜粋して紹介させていただきます。

(スラム街の人は) 重労働で給料もかなり少ないにも関わらず、みんな自分の仕事を気に入っていて、生活を楽しんでいるとのことでした。自分たちの生まれた境遇に文句を言ったり、悲しんだりするのではなく、その中で前向きに頑張っているということに感動しました。それと同時に、今までの自分を振り返り、少し恥ずかしくなりました。夕飯に苦手なものが出たら残したりしていましたが、毎日食べるものに困らない生活ができている自分は、すごく幸せなんだと気づきました。自分はかなり恵まれているのだから、ダラヴィの人たちのように今の状況に感謝してもっと頑張りたいと思いました。【4年 K.T】

SDGsについて勉強した中で学んだことは、SDGsは大切だということです。人間が好き勝手にして海がゴミであふれたら、海の生き物ももちろん困るけど、最終的には私達人間が困ることになります。みんな協力して、少しでも早く解決することが大切だと考えました。そして、自分たちでも取り組めることがある事がわかったので、これからは環境のことを考えながら生活したいと思いました。

今回のSDGsの学習を通して、SDGs自体についても興味を持ったし、いろんなことを知ること、調べること、考えることが大切だということがわかりました。前は勉強なんてしなくても大丈夫。なんとかなるでしょ。と考えていました。でも、今回のことをきっかけに親に仕事のことを聞いて、学ぶことが大事で、特に算数、国語、英語が大事なのだということを知りました。もっと勉強しなきゃと思ったので、これからは一生懸命勉強して、SDGsの達成に協力していきたいです。【4年 L.I】

SDGsは特別な人だけが取り組むものではなく、僕たち一人一人の行動が大切だと分かりました。そして当たり前だと思っていた毎日に感謝して小さなことでも行動できる人になりたいと思いました。SDGsについて学ぶ中で、問題を「かわいそう」で終わらせてはいけないとも感じました。大切なのは知ったあとにどう行動するかだと思います。たとえ大きなことができなくても、知ろうとすること、考えること、周りの人に伝えることも立派な行動です。ニュースを見て世界の現状を知ったり、学校で友達と話し合ったりすることも、社会を変える一歩になると思います。一人の力は小さくても、それが集まれば大きな力になります。今回のまとめを通して、世界は広く、まだ多くの課題があることを実感しました。同時に、僕たちにも未来を変える可能性があると感じました。これからもSDGsを自分ごととして考え、身近なことから行動を続けていきたいです。そして、誰もが笑顔で暮らせる世界を実現するために、自分にできることを探し続けていきたいです。【8年 K.H】

SDGsを柱とした令和7年度の教育活動が終わろうとしています。保護者の皆様、学校運営委員の皆様をはじめ多くの皆様から本校の教育活動にご理解・ご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。



皆で自動車運搬船を見にいこう！



昨年に引き続き、日本郵船様のご厚意により、自動車運搬船の乗船体験に行ってきました。今年は事前学習として講演会で説明を受けたこともあり、実際どんな感じなんだろうとみんな行く前からワクワクドキドキ。興奮が抑えきれない様子でした。

乗船したのは GRAND SAPHIRE (グランドサファイア) という車用船。全長約200mの大きな船を間近で見てもみんなビックリ。この日はインドで作られた車を約6400台も積載していました。まさに海上の立体駐車場。船の外ですらっと整列していた車の様子も壮観でした。車はできるだけたくさん積むために間隔の無駄を無くすように積んでいきます。その間隔なんと左右10cm、前後30cm。到着した港ですぐに前進して出口に向かえるようにバックで駐車しますが、そのためにはサイドミラーを畳んだままバックさせなければいけません。もちろん、誘導する係の人はいますが、それでも相当な技術が必要です。この駐車を担当するドライバーの人たちはこのような技術を身に付けるための研修を受け、現場で働いているそうです。その後は専用のベルトでフロアと車をしっかり固定。今日の車は1台約1.4tでしたが、大きな波が来てどんなに揺れてもずれたりしないということでした。

日本の貿易の99.6%は船が担っているそうです。私たちが豊かな暮らしを送れるのもこうした人たちに支えられているからですね。

日本文化体験デー 開催

毎年1月終わりのこの時期、学校では日本文化に親しもうと、「百人一首」「かるた」「将棋」「墨絵」「コマ回し」「けん玉」「福笑い」などを行っています。最近はこうした文化に触れることも少なくなりがちです。日本の伝統をこれからも大切にしていきたいですね。子どもたちからは初めてやったけど、もっとやりたい。難しかったけれど、どれも楽しかったという声が聞かれました。

全力で 跳んで、投げて、走った

親子レクリエーション

2月1日はみんなが待ちに待った親子レクリエーション。今年は体育委員会が中心となってユニークな種目をいくつも考えてくれました。「投げて投げてたくさん入れるぞ玉入れ」「全力で逃げろドッジビー」「本気で転がそう！大玉転がし」「激闘！白熱！障害物リレー！」では子どもも大人もやる気全開、夢中になって楽しんでいる表情がとても印象的でした。「みんなでスマイル100%、元気100倍！」のスローガン通りの1日でした。



インドで活躍する日本人講演会（日本郵船）



いざ車用船へ！



操舵室には計器がいっぱい。



いざ勝負！真剣そのもの。



本気で転がそう！大玉転がし